

CONTENTS 目次

- 2 特集 こどもまんなか未来づくり予算
- 6 やいたのみなさんコンニチハ・ヤイタゴハン ほか
- 8 子育てひろば・図書館へGO！ ほか
- 10 今月のニュース&トピックス
- 13 はつらつ通信
- 16 市からのお知らせ
- 27 #yaitagram・クイズ&アンケート
- 28 矢板市青少年育成市民会議『みらい』
- 30 矢板市生涯学習情報『まなび』の使い方
- 32 ゆかりびと・編集後記

COVER 表紙の写真



表紙の写真は、ちゅーりっぷ保育園で、卒園児の皆さんにピカピカの一年生姿を見せてもらった時の様子です。うれしそうに自分のランドセルを背負う子どもたち。元気で無邪気な子どもたちの笑顔にたくさんの元気をもらいました。

POPULATION 人口 (3月1日現在)

30,474人 (△46) 出生 11人
 男 15,164人 (△29) 死亡 33人
 女 15,310人 (△17) 転入 48人
 13,363世帯 (△10) 転出 72人
 () 内は2月1日との比較 ※住民基本台帳をもとに算出
 △は減

特集

こどもまんなか未来づくり予算

令和6年度 矢板市一般会計予算

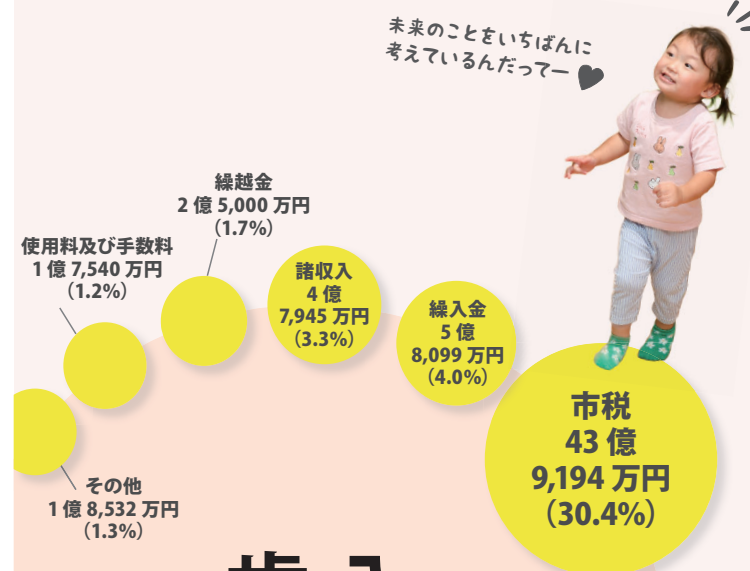
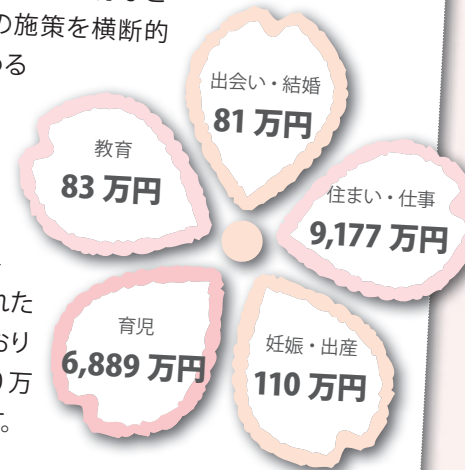
令和6年度矢板市一般会計予算「こどもまんなか未来づくり予算」。この予算の特徴は、「Yaita こどもまんなかプロジェクト」の取組や、「DX・GXの推進」などの未来のまちづくりに十分留意した上で、各種施策の優先順位について一層の選択と集中を図ったものです。

今号では、予算の全体像や事業内容を「市総合計画」の主要な「まちづくりの重点項目」に大別し、分かりやすく紹介します。

こどもまんなかプロジェクト

市は、昨年6月に「こどもまんなか社会」の実現を目指す国の趣旨に賛同し、県内でいち早く「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました。この宣言に基づき、出会い・結婚、住まい・仕事、妊娠・出産、育児、教育などあらゆる分野の施策を横断的に連携して進める「Yaita こどもまんなかプロジェクト」を推進しています。

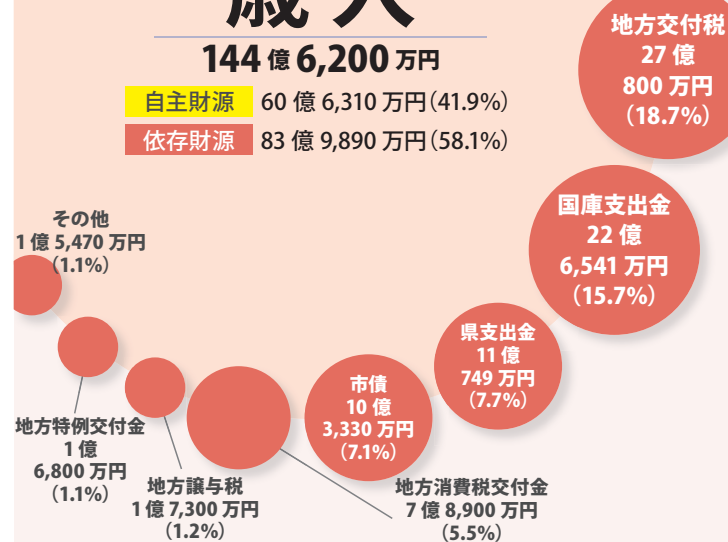
これにより各分野に割り振られた予算は右記のとおりで、約1億6,000万円が充てられます。



歳入

144億 6,200万円

自主財源 60億 6,310万円 (41.9%)
 依存財源 83億 9,890万円 (58.1%)



各会計歳出予算額比較表

区分	令和6年度	増減額(昨年度比)	増減率	
一般会計	144億6,200万円	▲6億3,100万円	▲4.2%	
特別会計	介護保険	31億150万円	5,090万円	1.7%
	国民健康保険	35億120万円	▲880万円	▲0.3%
	後期高齢者医療	5億850万円	3,560万円	7.5%
	ハッピーハイランド矢板排水処理事業	1,160万円	50万円	4.5%
	小計	71億2,280万円	7,820万円	1.1%
水道事業会計	12億2,500万円	▲2,800万円	▲2.2%	
下水道事業会計	11億5,280万円	▲1億3,690万円	▲10.6%	
合計	239億6,260万円	▲7億1,770万円	▲2.9%	

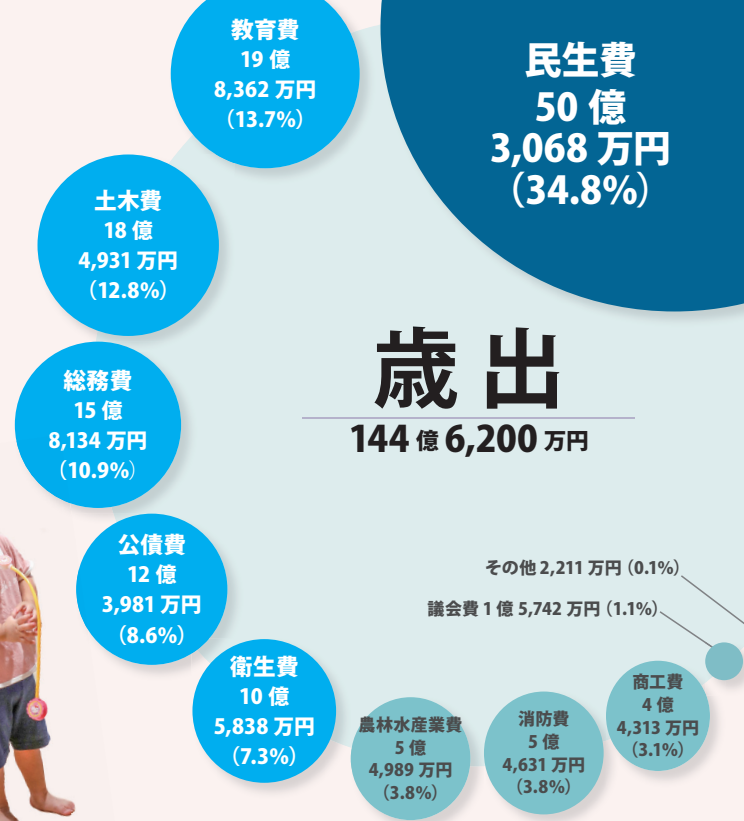
矢板市の貯金 -基金残高の推移-

過去10年間の基金残高(貯金)は、令和元年度を底に順調に伸びています。令和5年度の決算では過去最高額となる見込みです。今後控える東小学校建設事業などに活用していく予定です。



用語の説明

- 民生費** 高齢者や子どもの福祉、生活保護などにかかるお金
- 教育費** 学校教育や生涯学習にかかるお金
- 土木費** 道路や橋、公園などの整備や管理にかかるお金
- 総務費** 市役所の業務管理、DX推進にかかるお金
- 公債費** 市の借金返済にかかるお金
- 衛生費** 健康の保持増進、環境保全などにかかるお金
- 農林水産業費** 農業・林業・水産業の振興にかかるお金
- 消防費** 消防・防災活動などにかかるお金
- 商工費** 商業・工業・観光の振興にかかるお金
- 議会費** 議会の運営や議員の活動にかかるお金
- その他** 労働費や諸支出金など



歳出

144億 6,200万円

これからに備えなきゃね!



矢板市総合計画「まちづくりの重点項目」

#01

健康・子育て

子どももまんなか社会の実現
心と体の健康づくり



**子育て世帯のニーズに応える
市内病児保育施設の運営支援 850万円**
保育施設では保育が難しい病気の子どもを、一時的に保育する市内施設の運営費の一部を支援することで、子育て世帯をサポートします。



**ファミリーサポートセンター
お試し券 48万円**
ファミリーサポートセンターの周知・利用促進で、地域一体となった子育て環境を整備します。

- 産後ケア事業利用者に対し、自己負担額の一部を減免。
- 子育て中の保護者がリフレッシュするため、保育施設での一時保育利用料を助成。
- 3カ月から3歳6カ月までの6回の集団健診に加え、個別に実施している1カ月児健診の費用を新たに助成。
- 両親参加型の育児教室や、産前産後の体操教室で、パパママを支援。
- 母子手帳機能のほか、子育て情報の発信などができる子育て支援アプリを導入。
- 不妊治療を支援。
- 子どもの医療費を助成し、家庭の経済的負担を軽減。
- 子育て総合支援拠点として、「子ども未来館」を運営。
- 健康ポイントのアプリ導入に向けて実証実験を実施。
- 原則50歳以上を対象に帯状疱疹の予防接種費用の一部を助成。



**公的病院等を支援
地域医療の維持と充実 2,100万円**
中核病院の機能維持及び小児医療病棟の確保に要する経費の一部を支援することで地域医療の維持と充実を図ります。



電車通勤の移住者へ通勤費支援 240万円
令和6年度以降に転入し、宇都宮へ電車通勤する人に対し、通勤に係る距離的・時間的負担感を軽減し、移住者の増加を図ります。

- 市立小中学校特別教室にエアコンを設置し、教育環境を整備。
- 「25歳のつどい」を開催し、若者同士の交流を促進。
- 生涯学習フェスティバルを開催し、多世代交流を含めた学びから豊かな心を育む。
- テレワークによる県内外のIT関連企業やパソコンを用いた事務職などへの就業を支援。
- 子育て世帯などの夫婦に対し、初めて矢板市に居住する場合に家賃の一部を補助、親との同居・近居を目的にリフォームなどをする場合に費用の一部を補助し、定住を促進。



結婚新生活のスタートアップを支援 900万円

結婚し、矢板市で新生活をスタートさせる若い世代の夫婦を対象に、家賃・引っ越し費用などを補助します。
*詳しくはP20をご覧ください。



小中学生の『未来を生き抜く力』を育むため、充実したICT教育の推進 1億3,000万円
情報機器・通信環境の整備や教員の支援を行いながら、児童生徒一人ひとりに適した創造性あるICT教育を実現します。

#03

産業振興

高まる魅力で地場産業を盛り上げる



**スポーツを通じて交流人口を増やし
経済効果の拡大を目指す 810万円**
矢板市にある「観光」、「食」、「文化」をスポーツと結び付け、さらに多くの方へその魅力を伝えるとともに、産業の活性化につなげます。

- 防災無線や地域情報メールを通じて防災情報や市の情報を伝達。
- 各家庭での再生可能エネルギー・省エネルギー機器の購入支援。
- 市内24カ所にある指定避難所の管理。
- 災害用備蓄品の管理。
- 消防団と自主防災組織の連携強化訓練の実施。



子ども未来館に太陽光発電と蓄電池を整備 6,230万円
災害時、災害対策本部として機能するため、再生可能エネルギー機器を整備し、非常時電源を確保します。



**リニューアルした城の湯温泉
やすらぎの里から魅力発信 1,810万円**
スポーツ合宿を誘致するなど、新たなスポーツツーリズムの拠点として、市内外からの交流人口の増加を図ります。

- 生産・経営の安定を目指す新規就農者の支援。
- 高原山を楽しむ観光拠点として、「山の駅たかはら」を運営。
- 市内でスポーツ大会や合宿を行う団体を支援。
- 市内経済の国際化を図ることにより、市内産農産物の輸出拡大及びインバウンドの獲得を図る。
- 農作物の被害を減らす地域ぐるみの有害鳥獣対策。
- 製造業やソフトウェア業などの企業を誘致し、まちの産業を活性化。

#04

防災

自然災害から命を守る
安全で災害に強いまち



栃木県と共同で総合防災訓練を実施し、防災力強化 1,300万円
防災拠点機能も兼ね備えた文化スポーツ複合施設で、県と連携した大規模訓練を実施します。

#05

安心快適

暮らしに寄り添う
暮らしに寄り添う
安心快適なまちづくり



暮らしに寄り添う身近な交通サービス 4,080万円
矢板・泉・片岡地区のそれぞれのニーズに合わせて、デマンド交通・中央部循環路線バス運行・地域共助型生活交通(コリンタ号)の運行を補助し、生活交通として必要なサービスを提供します。



地域の業者と連携し、生活道路をより快適に 2,000万円
認定外道路の舗装工事を行う行政区に対し工事費用を補助し、住民の生活道路の整備支援を図ります。

- 幹線道路・生活道路を整備し、アクセスの向上を図る。
- 橋の安全確保のための点検と修繕工事を実施。
- 老朽化したブロック塀の調査を行い解体工事の費用を補助。
- 地域が中心となって生活に密着した道路を修繕する際の原材料を提供。
- 個人・自治会・商店会・企業その他のグループなどと連携し、きれいな道とまちづくりの推進。
- 用地補償、新設・改良工事を実施し、わかば通りを安全かつ快適に整備。